

2023年度（2024年3月期） 第2四半期決算説明会

2023年11月8日

東証プライム 4559

ゼリア新薬工業株式会社
代表取締役社長 伊部 充弘

I. 2023年度第2四半期連結業績

I-1 概要

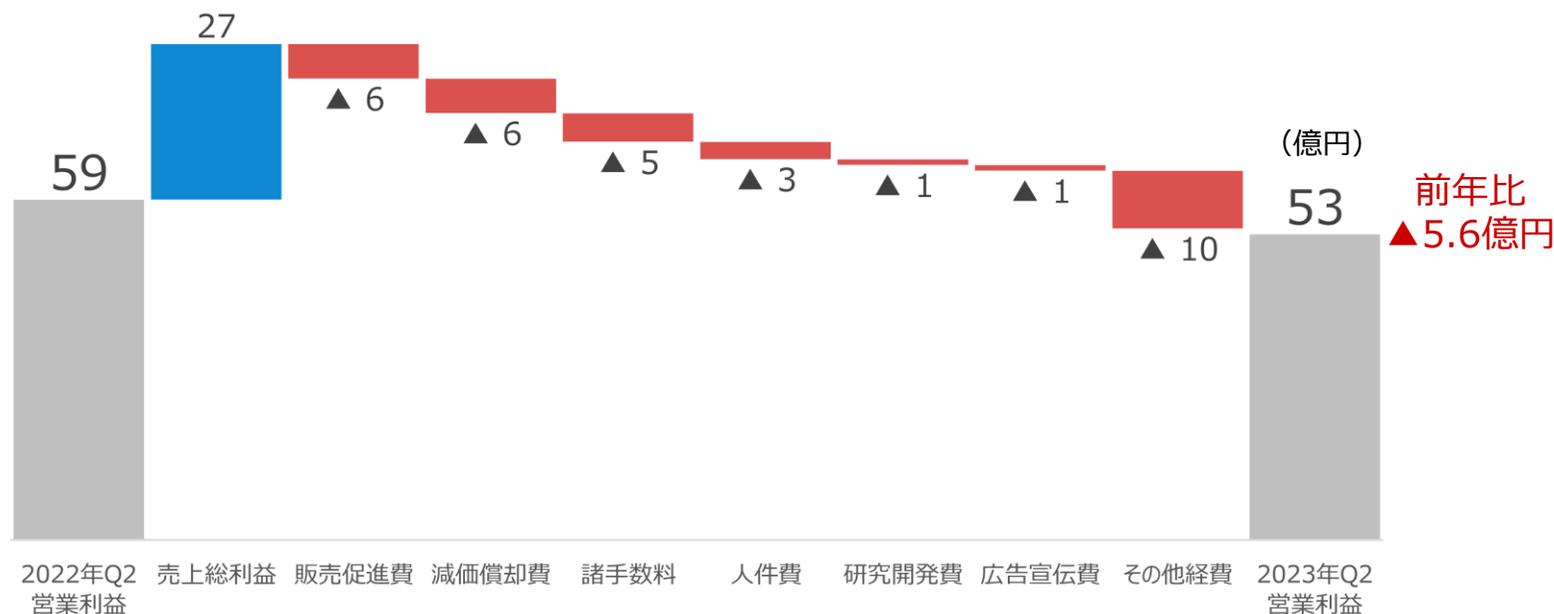
I-2 医療用医薬品事業

I-3 コンシューマーヘルスケア事業

I-4 海外売上高

(単位：百万円)	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年同期 差異率	5月公表 予想値	対公表予想値 差異率
売上高	33,712	36,678	8.8%	35,000	4.8%
売上総利益	24,335	27,046	11.1%	—	
販売管理費	18,441	21,719	17.8%	—	
営業利益	5,894	5,327	-9.6%	5,500	-3.1%
経常利益	5,182	5,495	6.1%	5,500	-0.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,998	5,396	35.0%	4,500	19.9%

プロモーション経費などの営業活動費、減価償却費増などにより営業利益は減少



販売促進費	海外医療用医薬品事業 プロモーション活動強化
減価償却費	商標権償却開始に伴う費用増 (エントコート)
諸手数料	ロイヤリティなど
人件費	海外子会社採用増、賃上げ
その他費用	英国医薬品価格規制制度の一部見直しによる経費増加など

引き続きディフィクリアが大きく伸長し業績を牽引

	2022年度 上期	2023年度 上期	
	実績	実績	前年同期伸率
(単位：百万円)			
医療用医薬品事業	21,505	23,900	11.1%
アサコール	9,881	10,097	2.2%
ディフィクリア	3,895	6,545	68.0%
エントコート	2,935	2,447	-16.6%
アコファイド	1,541	1,522	-1.3%
その他	3,251	3,287	1.1%

対前年増減要因

	対前年増減 (百万円)	増減要因	
		国内	海外
アサコール	216	薬価改定の影響	イギリス、ドイツなどで1600mg錠が伸長
ディフィクリア	2,650	4月からダフクリア錠の出荷開始	フランス、イギリス、イタリア、スペインで大きく伸長
エントコート	-488	薬価改定の影響	欧州域で後発品発売
アコファイド	-19	薬価改定の影響	
その他	36	フェインジェクトの市場浸透	

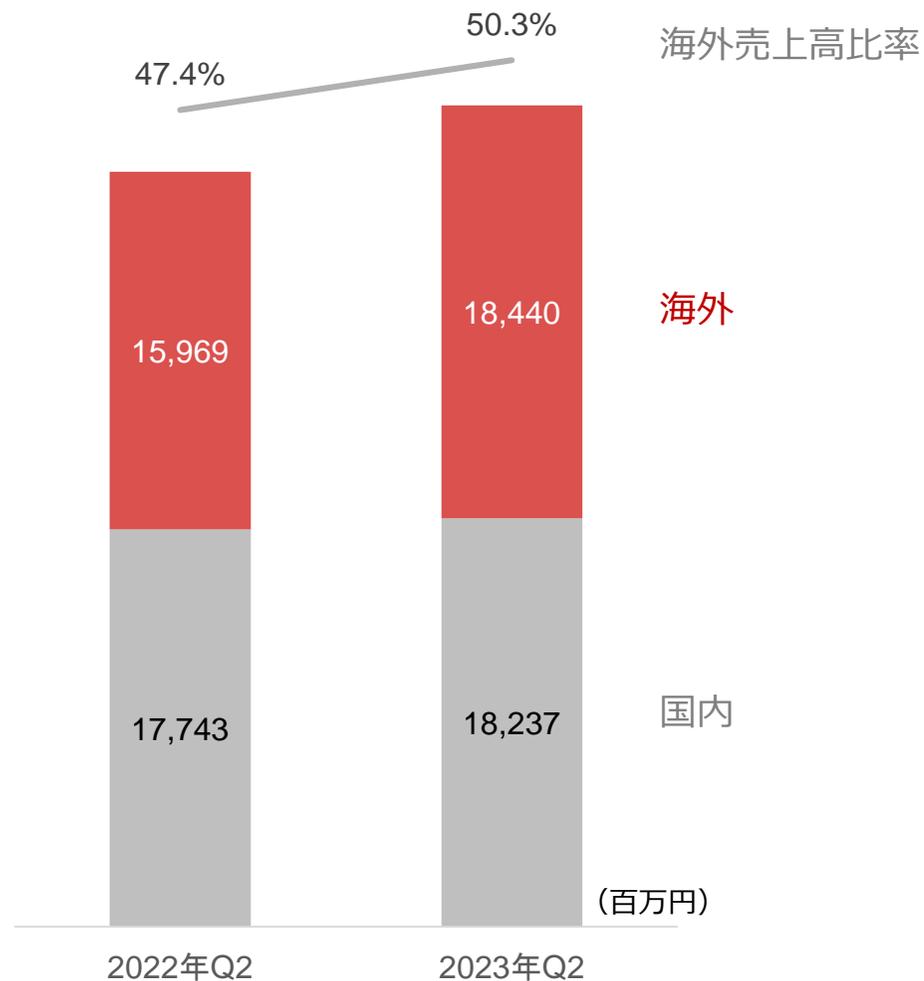
- ◆ ヘパリーゼ群は医薬品カテゴリー製品の増収が顕著
- ◆ コンドロイチン群は増収、ウィズワン群は微減

	2022年度 上期		2023年度 上期	
	実績		実績	前年同期伸率
(単位：百万円)				
コンシューマーヘルスケア事業	12,131		12,700	4.7%
ヘパリーゼ群	4,698		5,190	10.5%
医薬品	2,256		2,676	18.6%
清涼飲料水 栄養補助食品	2,442		2,513	2.9%
コンドロイチン群	2,634		2,862	8.7%
ウィズワン群	620		612	-1.3%
その他	4,177		4,034	-3.4%

対前年増減要因

		対前年増減 (百万円)	増減要因
へ パ リ ー ゼ 群	医薬品へパリーゼ	420	新型コロナウイルス感染：行動規制緩和・人流の回復 疲労回復・代謝改善/促進効果の訴求が浸透
	清涼飲料水 栄養補助食品	70	新型コロナウイルス感染：行動規制緩和・人流の回復
コンドロイチン群		228	広告宣伝効果
ウィズワン群		-8	競合品の影響など
その他		-143	マズデントや西洋ハーブ群は伸長したものの、 一部の健康食品などが減少

ディフィクリアが売上増に寄与し、海外売上高は50%越え



Ⅱ. 2023年度連結業績予想

Ⅱ-1 医療用医薬品事業

Ⅱ-2 コンシューマーヘルスケア事業

Ⅱ-3 開発パイプラインの状況

Ⅱ-4 2023年度 連結業績概要

◆ 2023年度上期

国内市場

アサコール	薬価改定、市場競争が厳しく苦戦
アコファイド	薬価改定により売上は微減
フェインジェクト	市場浸透が進む
ダフクリア	4月より出荷開始
その他長期収載品など	薬価改定、市場競争が厳しく、一部品目を除き苦戦

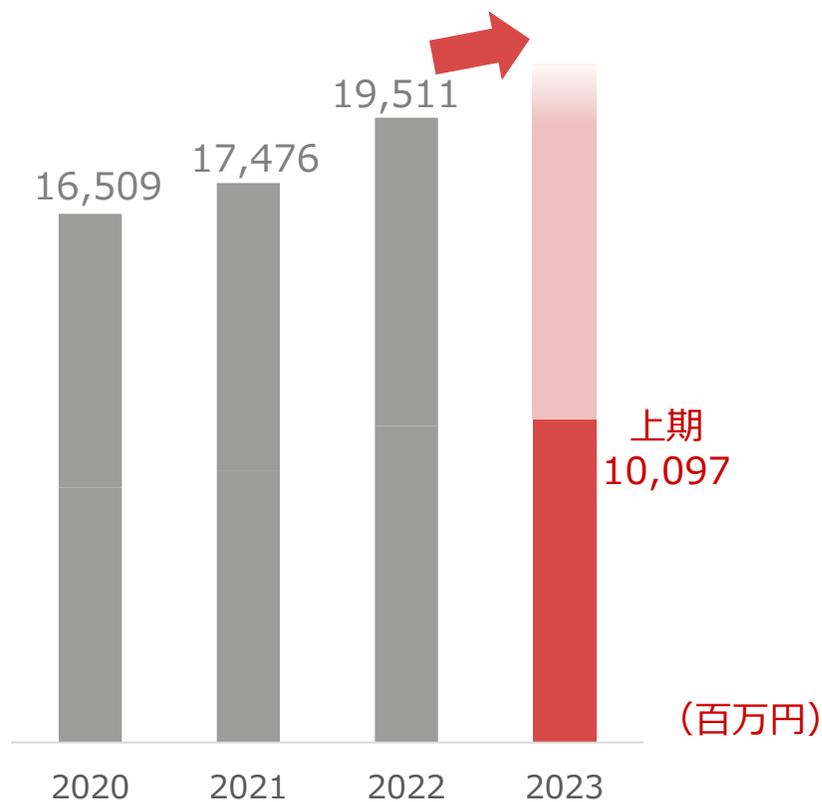
海外市場

アサコール	1600mg錠が好調に推移。イギリス、ドイツなどで売上増
ディフィクリア	フランス、イギリス、イタリア、スペインなど売上増
エントコート	欧州市場における後発品発売の影響を受け売上減

◆ 2023年度下期 見通し

国内市場、海外市場ともに、大きな変動要因は無く、期初の想定通りの進捗を見込む

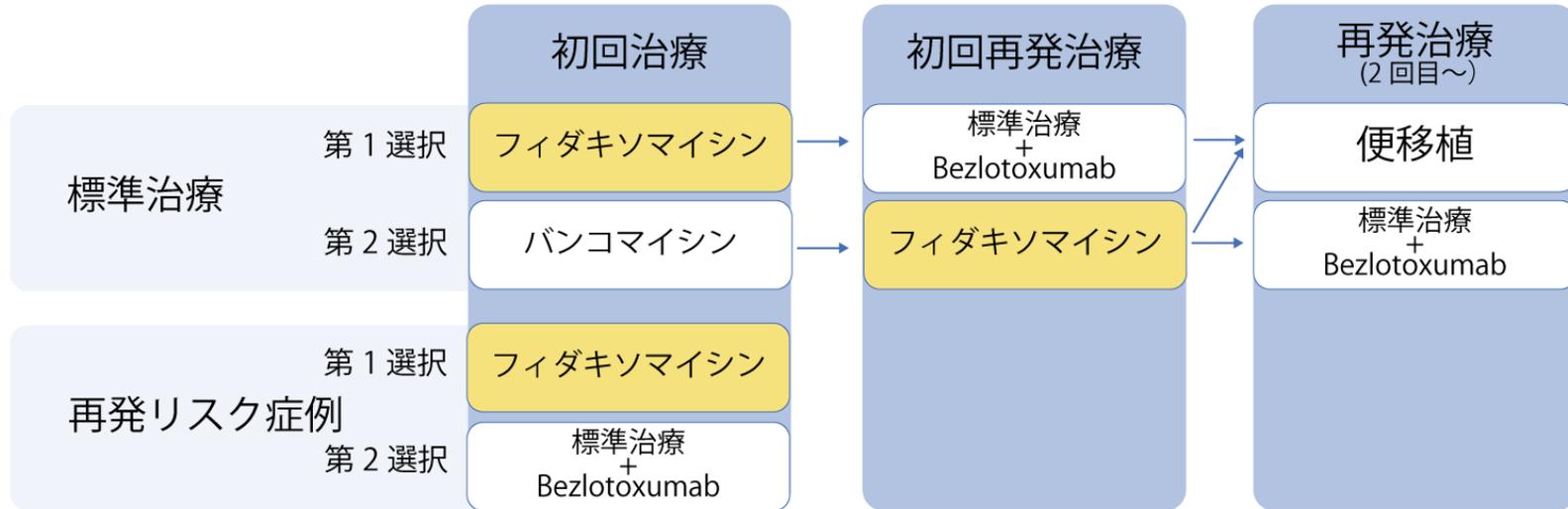
引き続きイギリスをはじめとする海外市場で伸長



引き続き海外市場において、
1600mg錠の伸長を見込む

ディフィクリア (フィダキシマイシン)

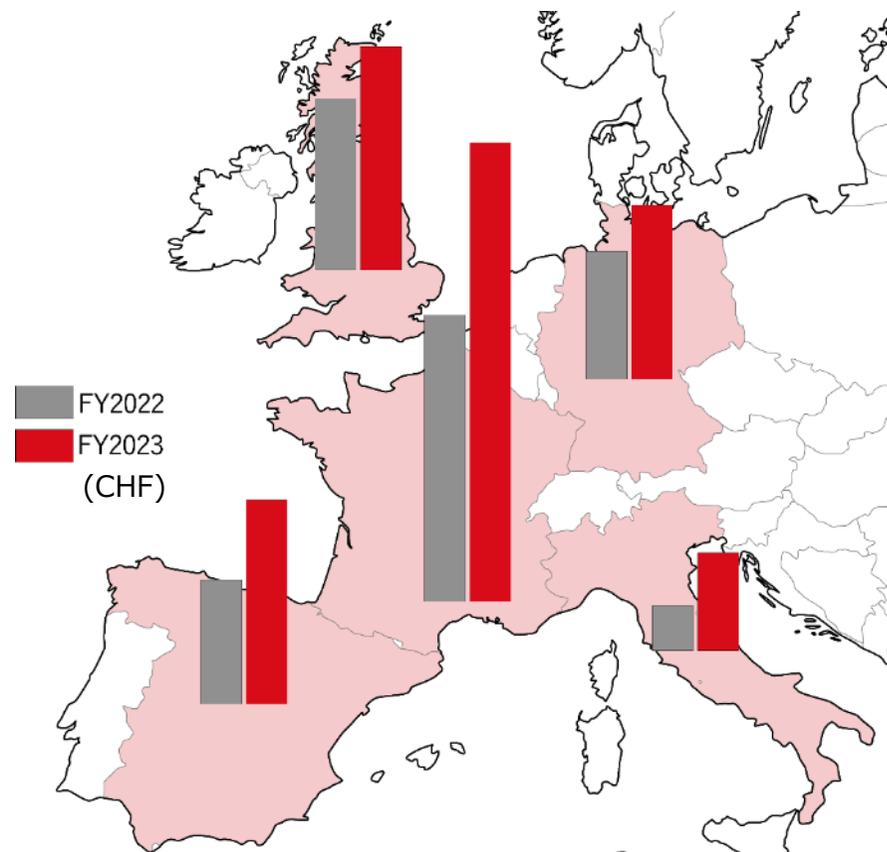
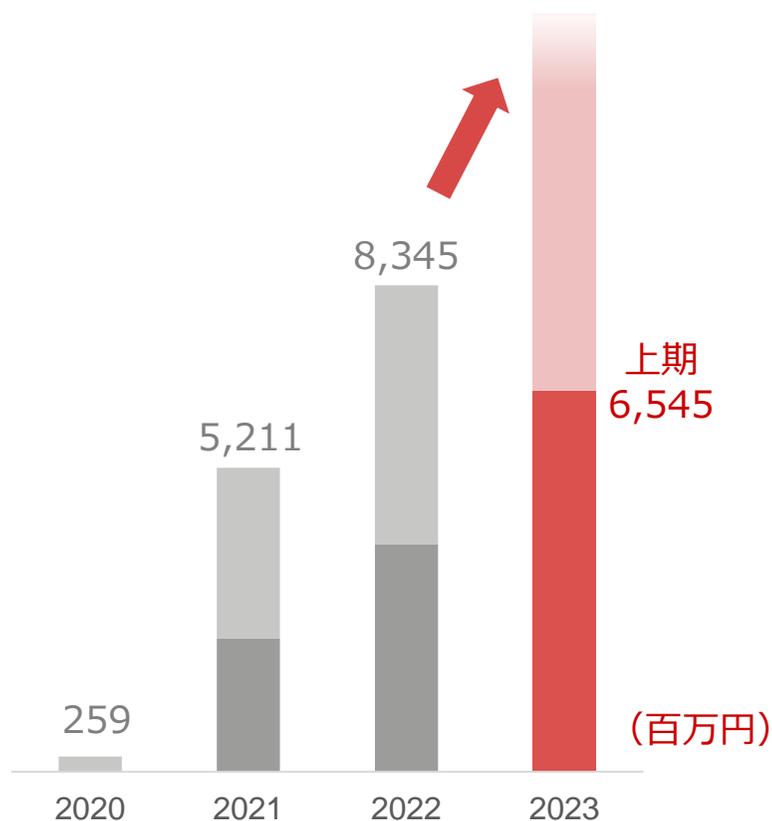
クロストリジウムディフィシル感染症の初発症例薬物治療における第1選択薬



- 再発リスク
- ①高齢者 (65-70 歳以上)
 - ②過去の入院歴、抗菌薬の使用
 - ③プロトンポンプ阻害薬の使用

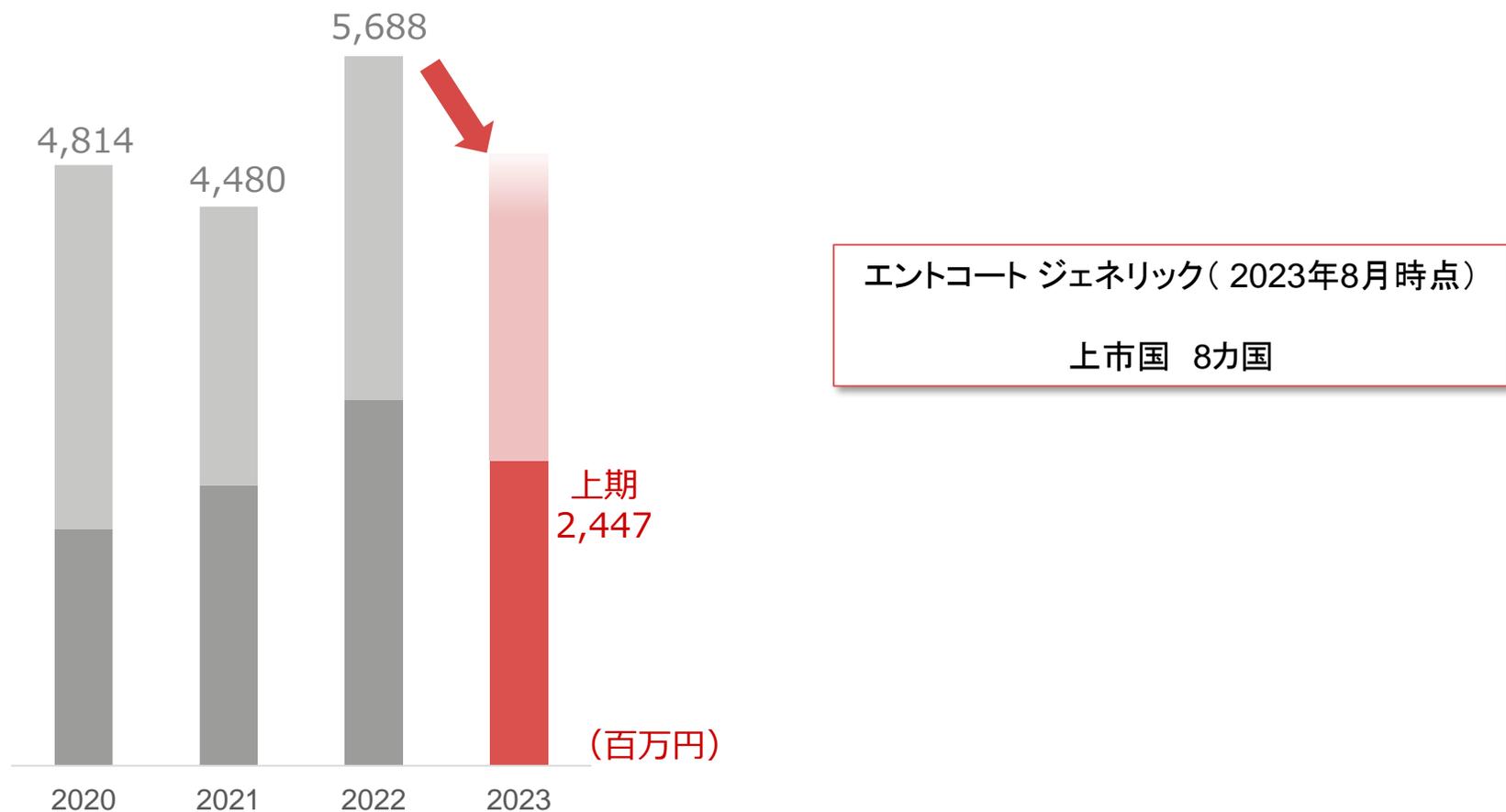
診療ガイドライン改訂後、持続的に伸長

2023年第2四半期売上Top5



- フランスが売上伸長を牽引
- その他の国においても、ガイドラインの浸透が進むにつれ、フランスに追随することを見込む

欧州域：ジェネリック発売の影響により売上減



2023年度上期

- ◆ ヘパリーゼ群
社会活動の活発化を背景に好調に推移
「疲労回復効果」の訴求を進めている医薬品の伸長大
- ◆ コンドロイチン群
広告宣伝投資などの効果により好調に推移
- ◆ 西洋ハーブ群
第2類医薬品への移行を機にプレフェミンの売上伸長

2023年度下期 見通し

- ◆ ヘパリーゼ群
第3四半期の需要拡大取り込みのため、積極的に広告宣伝活動を展開
前年対比 増収を見込む
- ◆ 薬用歯磨き「マスデント」シリーズのTVCMを展開、育成に注力
- ◆ 新製品の皮膚用薬「プレバリンαクイック」シリーズの育成

主力製品のほか、西洋ハーブ、皮膚用薬などの育成にも注力

OTC医薬品主力製品群



コンドロイチン群
関節炎・腰痛治療剤

医薬品ヘパリーゼ群
滋養強壮剤

ウィズワン群
便秘薬

ヘパリーゼW群



ヘパリーゼWプレミアム
清涼飲料水

イオナ化粧品



イオナ スパ&ミネラルエッセンス

西洋ハーブ群



プレフェミン

2023年4月
第2類医薬品へ移行

皮膚用薬 プレバリン群



プレバリンαクイッククリーム

プレバリンαクイックシリーズ
11月新発売

薬用はみがき マステント群

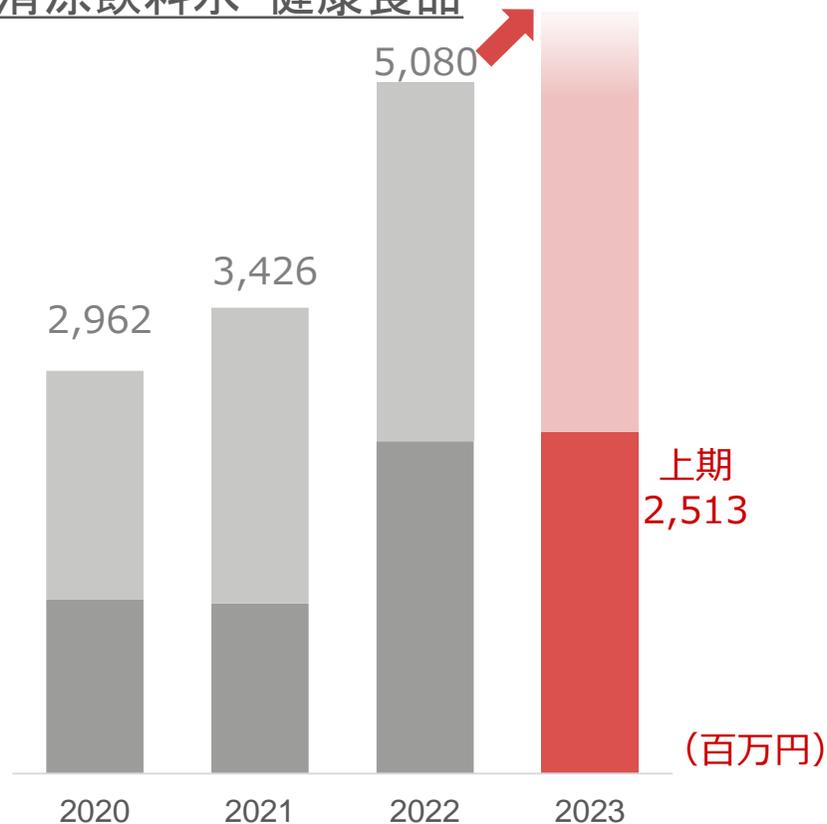


マステント ケア

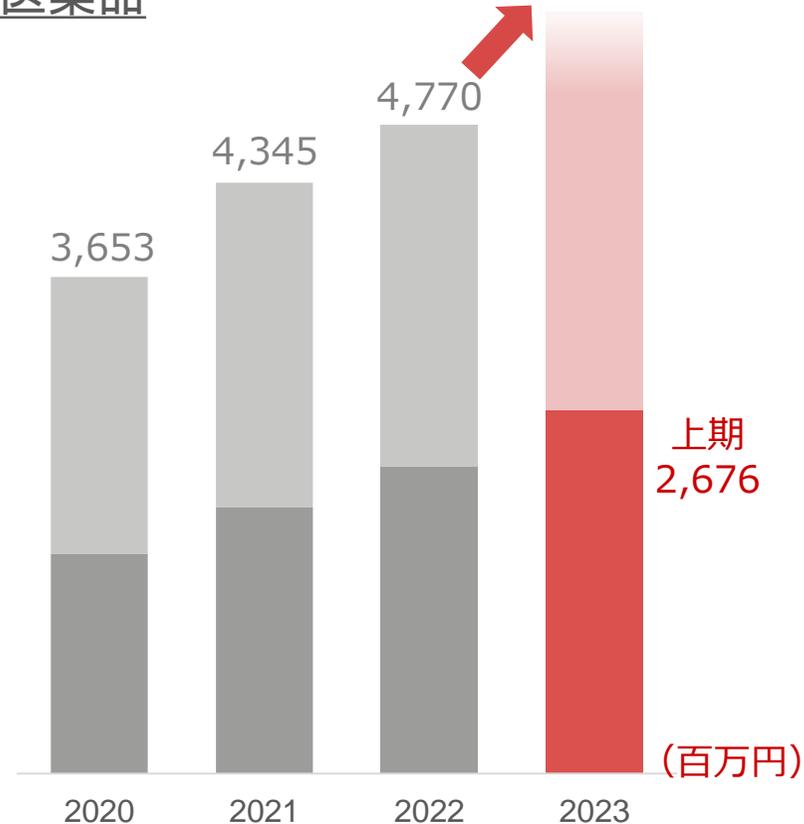
マステントシリーズ
TVCM展開中

- ◆ コロナ禍前の水準近くにまで売上回復
- ◆ 今期上半期は特にドラッグストア向け医薬品が伸長
- ◆ 第3四半期に向け積極的に宣伝広告を展開し、需要取り込みを図る

清涼飲料水・健康食品



医薬品



第2類医薬品への移行を機に売上拡大中



＼ 日本で唯一の /

PMSのおくすりプレフェミン

(月経前症候群) ※OTC医薬品として

薬局
ドラッグストアで!

生理前が
つらい、
イライラ
する。

女性を悩ませるPMS。
これからは、
おくすりで緩和するにや

【効能・効果】月経前の次の諸症状（月経前症候群）の緩和：乳房のはり、頭痛、イライラ、怒りっぽい、気分変動

新TVCM放映、SNSを通じた情報発信、フェムテックイベントへの参画など
プレフェミンのプレゼンス向上を目指す

Ⅱ-3 開発パイプラインの状況

国内開発

開発番号／名称	開発会社・機関	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請準備中	申請	承認	
ZG-801	ゼリア	高カリウム血症	[Red bar]						
Z-338 (アコチアミド)	ゼリア	小児 機能性ディスペプシア	[Blue bar]						
ZG-802 (アコチアミド)	ゼリア	低活動膀胱	[Blue bar]						
Z-338 (アコチアミド)	九州大学	食道胃接合部通過障害 (医師主導治験)	[Blue bar]						

海外開発

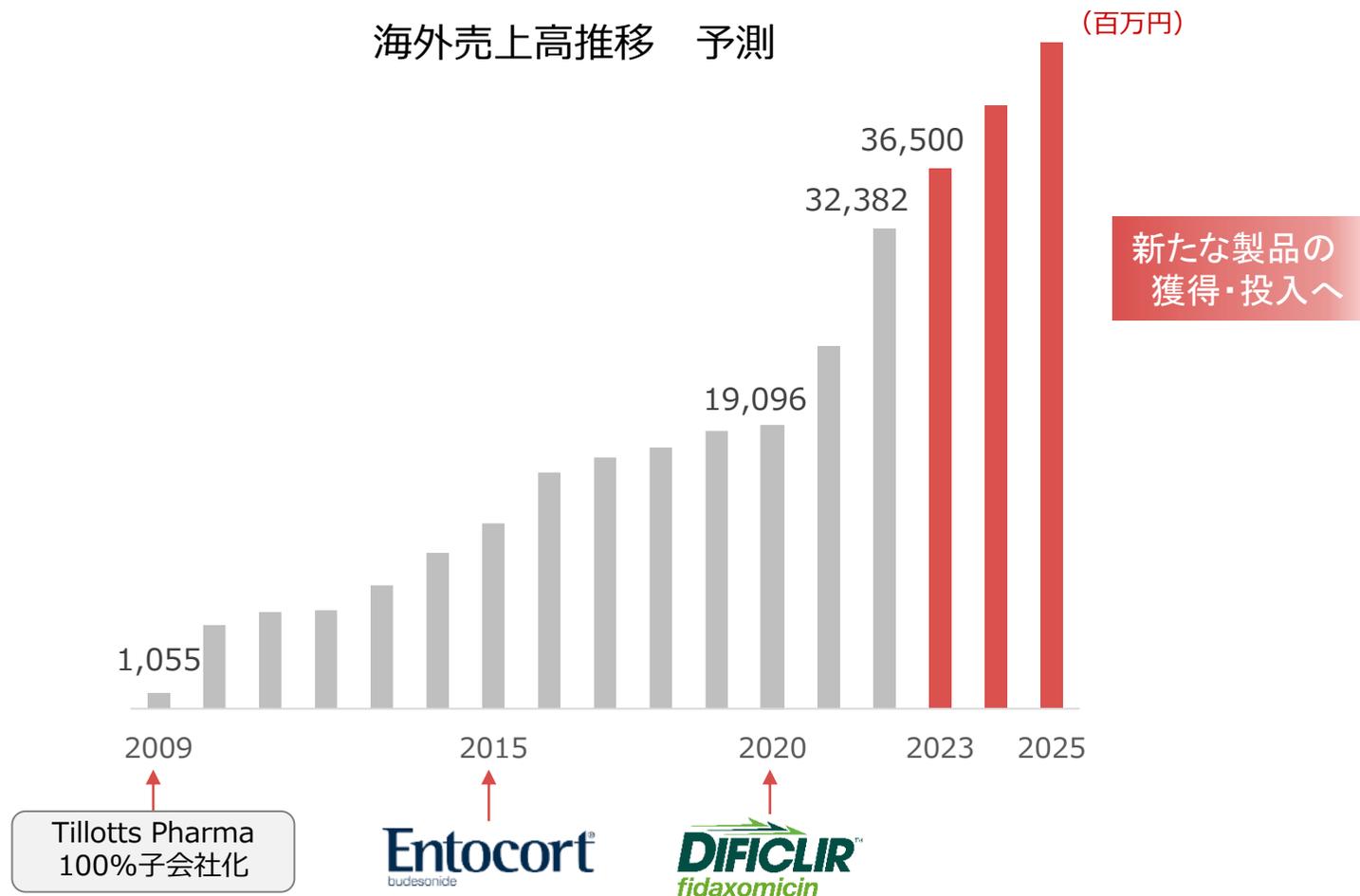
開発番号／名称	開発会社・機関	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請準備中	申請	承認
Z-338 (アコチアミド)	ゼリア	機能性ディスペプシア	[Blue bar] 欧州					
Z-338 (アコチアミド)	Meiji Seika ファルマ	機能性ディスペプシア	[Red bar] タイ					
Z-338 (アコチアミド)	Faes Farma	機能性ディスペプシア	[Red bar] メキシコ、ホンジュラス、ドミニカ共和国、エクアドル、チリ、ペルー、エルサルバドル ※					
Z-338 (アコチアミド)	F.T. Pharma	機能性ディスペプシア	[Red bar] ベトナム					

※2023.10 メキシコで発売
5カ国で申請中（コロンビア、コスタリカ、グアテマラ、パナマ、ニカラグア）

2023年5月公表予想から変更なし

(百万円)	2022年度	2023年度	
	実績	予想	対前年伸率
売上高	68,383	73,000	6.8%
営業利益	9,014	9,100	1.0%
経常利益	7,579	9,000	18.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,195	7,000	13.0%
一株当り配当	40円	44円 (予想)	
研究開発費	3,456	4,500	30.2%
広告宣伝費	2,500	3,100	24.0%
海外売上高	32,382	36,500	12.7%

2023年以降も海外事業の続伸を見込む 最大の成長ドライバー Tillotts事業の拡大



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先：広報部 西澤まで

Tel. 03-3661-1039

Fax. 03-3663-4203